

富士川に架かる新しい橋の名前は、

富士川^{ふじかわ}かりがね橋^{ばし} に、決定しました！

令和3年11月1日から11月30日にかけて募集した富士川に架かる新しい橋の名前が、令和4年1月11日開催の「富士川に架かる新しい橋の名称検討委員会」を経て決定しました。



橋名と富士川に架かる新しい橋の名称検討委員会（前列左から2番目が富士市長）

新しい橋の名前

富士川かりがね橋（ふじかわかりがねばし）

応募数

応募総数 3,064件のうち 19件

選定理由

江戸時代に建設され、長年、当該地域を水害から守ってきた歴史的遺産「雁堤（かりがねづつみ）」にあやかり、富士市が未来にわたり安穩であること、加えて、旧富士川町と旧富士市を繋ぐ橋であることから、地域の発展と明るい未来への懸け橋となるよう、2つの願いが込められている「富士川かりがね橋」を選定した。

橋の場所



富士市長のコメント

たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。3千件を超える応募数は、市民の皆様が橋の完成を待ち望んでいることの表れであると感じております。

この度決定した「富士川かりがね橋」は、橋の兩岸の思いが込められたものであります。

「富士川」は、川の名称であるとともに、西岸の旧富士川町地区を表しており、川の名称や地区の名前を残したいという意見がありました。

「かりがね」は、東岸の雁堤（かりがねづつみ）を表し、苦勞して堤を築き、まちを守ってきた先人への感謝を忘れてはならないという思いが詰まっています。

この橋が兩岸を結ぶ絆となり、兩岸の歴史や思いを乗せて未来に飛ばたくような、希望を感じるよい名前になったと思います。

市民の皆様にも末永く愛される橋となることを願っております。

また、雁は、よい知らせを運ぶ鳥と言われておりますので、橋の開通というよい知らせを皆様にお伝えできる日を心待ちにしております。